

睡眠時無呼吸症候群は身体の危険信号

(Sleep Apnea Syndrome)



「睡眠時無呼吸症候群 (SAS)」とは、睡眠中に呼吸が止まる、または浅く・弱くなることで十分な睡眠をとることができず日常生活に障害を引き起こす疾患です。夜間に繰り返される無呼吸は自覚しづらいうえに、気づかぬうちに体に負担がかかっています。日中の眠気が原因で、交通事故などの労働災害も引き起こしかねません。まずはセルフチェックしてみましょう。

こんな症状がありませんか？
それは「睡眠時無呼吸症候群」かもしれません！

✓ 慢性的な睡眠不足

✓ 昼間の発作的な激しい眠気

✓ イライラ感

✓ 集中力・思考力・判断力・行動力・気合の低下

✓ 居眠り事故を起こしそうになる

SASの主な原因は

「空気の通り道である上気道が狭くなること(OSAS:閉塞性睡眠時無呼吸症候群)」です。

様々な要因が考えられます



生活習慣病の合併症のリスク

SASになると身体は睡眠中酸欠状態となり少ない酸素を全身にめぐらそうとするため心臓や血管に負担がかかります。その状態が続くと生活習慣病の合併症を引き起こす可能性があります。



社会的問題

事故発生の可能性

交通事故 / 労災事故
(交通事故率は健常人の約7倍)

出展: Mokhlesi B Eur Respir J.2016; 47:1162-1169

睡眠時無呼吸症候群かな？と思ったら

(Sleep Apnea Syndrome)

「睡眠時無呼吸症候群」は適切な診断と継続的な治療を行うことで無呼吸がなくなり、生活習慣病や眠気などの症状もコントロール可能です！



！気になる症状があったらスクリーニング検査を受けよう！

ウェルビーイング毛利で簡易検査が可能です！申込をしてから最短2週間で結果がわかります。簡易検査とは自宅で取扱い可能な検査機器（指先につけるタイプ）を使って、普段と同じように寝ている間にできる検査です。



スクリーニング検査のながれ



検査に関するお問合せ・検査のお申し込みはウェルビーイング毛利まで
03-3635-5711